

消えた魚(絶滅種・絶滅危惧種)は 地域に呼び戻せる!

手賀沼水生生物研究会は昨年度より、絶滅した利根川水系のゼニタナゴの野生復帰に向けた活動を始めました。地域から消えた地域固有の魚は復活できるのか? その意義は何か? そのハードルは何か? 絶滅危惧種を普通種に戻した世界初の成功例に学び、利根川下流域における水生生物保全の今後の可能性について考えます。

日時: 2017年1月21日(土) 12:30~15:00

会場: アビスタ大ホール(我孫子市生涯学習センター) 入場: 無料

絶滅危惧種オレゴンチャブを回復させた世界初の成功事例に学ぶ

講師: 千葉県生物多様性センター 鈴木規慈さん



米国オレゴン州で官民協力して取り組む希少種オレゴンチャブ保全の先進事例について、淡水魚の研究者である鈴木規慈さんに伺います。同種はコロンビア川支流域にのみ生息する小型のコイ科魚類で、米国の絶滅危惧種保全の成功事例であり、世界唯一の成功事例です。

現場で感じたノウハウ 江戸川、利根川の生き物「こうすれば守れる」

講師: 『自然通信』編集長 田中利勝さん



月刊誌『自然通信』は2016年12月で313号! その編集長で利根川下流域の自然で知らないものはない田中利勝さんに、同水域における水生生物の変遷と現場で感じた保全のノウハウについて聞きます。

主催: 手賀沼水生生物研究会
(問い合わせ: 同会事務局 ☎090-7243-6720)
後援: 千葉県我孫子市、ノーバスネット

➡アビスタ
地図

